

どのレインウェアを併用すること（傘では上からの雨は防げても、他の参加者の傘から流れて来る雨水でいつの間にかずぶ濡れになっていたりするので、特に長時間待機の程最初から全身を覆ってしまうレインウェアの方が有効性が高いという側面もある）。

傘を持参する場合はとにかく周囲全方向に重々注意して、不意に傘を動かしたりやたらと振ったり回したりといったことをしないように。また会場内に入ったら長い濡れた傘は危険であり周囲に迷惑なので用意するなら折り畳み傘の方が望ましい。特に日傘は雨傘と異なり、機能的には帽子などの代替品で済ませることが可能なので、単なるファッションアイテムとしての持参なら自重してほしい。

■当世会場食休事情■

現在のところ、会場である東京ビッグサイト内での飲食物の供給状態はそれほど悪くはない。しかし、会場内では何よりも『座って休める場所』が最も不足している。これは会場内に展開している飲食店などでも例外ではない。会場内のベンチも飲食店の座席もいっぱいであっても、常に座れない大勢の参加者がイスが空くのを待っているのだ。疲れてくれば誰だって一休みしたい。ちょっと荷物を整理したり、家や友人に落ち着いて連絡を取りたいこともある、しかしそれはアナタだけではないのだ。同じことを求めている他の参加者のために、休憩場所は極力早く空けるようにしよう。

・会場内の飲食店は会期中ほぼ常に満席状態で、さらに入れるのを待っている人たちがいる。店舗のためにも他の参加者のためにも食事を終えたら長居はしないこと。飲食店内で同人誌を読み始めたり、食べ終わっても延々とおしゃべりをして居座るのは迷惑行為だ。

・会場内のベンチは人が座る場所。荷物を置いて占拠するのは論外、ましてやベンチで同人誌を読みはじめたり寝たり、同人誌の仕分け作業を始めるのは完全にNG。特にグループで1つのベンチを占拠し、そこを基地的に使うのは多くの参加者からひんしゅくを買う行為だ。個人荷物の整頓作業も自分の前やひざの上で可能な限り短時間で終わらせるのがセオリー。

・会場内の座れる場所は会期中は『ゆっくり休む場所』ではない。会場内のベンチはあくまでも『小休止のための場所』と考え、最低限のことを済ませたら速やかに立ち上がろう。

腰を降ろして一息ついて、飲み物と行動食で水分とエネルギーを補給、ざっとコンディションや予定をチェックして荷物を整理して再び立ち上がるのに要する時間は15分ほどだ。その時間で立ち上がるのがキツイと感じたらアナタはかなり疲労している。早々な撤収を考えよう。

・特に入場前、待機列や駅から会場までの間にお腹に何か入れておこうという考えは悪くないが、歩きながらの飲食の際には商品のパッケージなど細かいゴミであっても絶対に落とさないように注意しよう。いったん落とすと戻って拾うのが面倒になったり状況的に難しかったりして結局多くのゴミが撒き散らされることになる。

自分の持って来た物に付随するものは全部自分の責任で片付けなくてはならない。せめてゴミ箱まではきちんと袋にでも詰めて持っていこう。

●意外と大切な靴の話●

靴はコミケットという1日立ち続け、歩き続ける場ではある意味最も重要なアイテムだ。靴が途中で破損してしまえば、他のどんな準備をしてあっても無駄に終わってしまう。会場に履いていく予定の靴は事前によくチェックし、特に靴底痛んでいないか確認しておこう。新品であっても造りが良くないものはいざ履いてみるとあっさり靴底が剥がれたり、ヒールが折れたり踵が外れたりしてしまうことがある。靴だけはしっかりした物を用意しよう。

特に冬コミでは、冷たい地面との接触面でもあるだけに、あまり底が薄い靴や、湿気の籠った靴はとても冷えるので要注意だ。

長時間履きっぱなしになるだけに、履き心地も考えなくてはならない。ハイキング用やウォーキング用の別売りタイプの中敷（できるなら『形成インソール』というハードタイプのもの）を入れることをおススメしたい。

どうしてもサンダルなどの軽い靴を履きたいなら必ず靴下は履こう。混雑した会場ではいつ何時足を踏まれるか分からない。怪我を予防し、体温を保持するために絶対必須なのだ。

また、普段歩き慣れていない人には靴擦れの危険もある。万一の時のために円形や正方形の大判救急絆創膏を数枚、バッグに入れておくのも忘れずに。